

農業とエネルギーの未来をひらく

「望ましい営農型太陽光発電」 と地域主導の制度設計

入場無料

事前のお申し込みが
必要です

営農型太陽光発電は、制度改正を機に新たな段階へ。
地域の農業と再生可能エネルギーを両立するために、
これからの制度と社会実装のあり方を考えます。

営農型太陽光発電をめぐる制度は、2026年の省令改正を機に大きな転換点を迎えます。
本シンポジウムでは、行政・自治体・農業・エネルギー学識経験者など、幅広い分野の関
係者が一堂に会し、農業との両立、地域との合意形成、事業の持続性など、社会実装に向
けた課題と可能性を多角的に議論します。

今すぐ申込み

2026 9.7 月 13:00-17:00

砂防会館 別館 1F 淀・信濃
東京都千代田区平河町2-7-4

会場参加(定員150名)もしくはオンライン 申込締切は8月28日(金)



プログラム

1. 開会挨拶
小宮山宏(プラチナ構想ネットワーク 会長)
2. 基調講演①
木村崇之氏(農林水産省 環境・イノベーション政策課 課長)
制度改正の全体像と
「望ましい営農型太陽光発電」の方向性
3. 基調講演②
馬上丈司氏(千葉エコ・エネルギー - 会長)
農山漁村再エネ法に基づく
国の基本方針の読み解き
4. 基調講演③
青木一実氏(小田原市 農林業振興担当 部長)
市町村基本計画に
営農型太陽光発電をどう位置づけるか
5. 取組事例報告
ヤンマーHD/ベジタリア/東京大学/REASP
6. パネルディスカッション
<パネリスト>
末松広行氏(東京大学)
木村崇之氏(農林水産省)
辻村克志氏(クボタ)
北井久美絵氏(中部ソーラーシェアリング やろまい会)
瀬川浩司氏(東京大学/RATO)
<コーディネーター>
馬上丈司氏(千葉エコ・エネルギー)
7. 質疑応答・総括
8. 閉会

お問合せ先



一般社団法人 プラチナ構想ネットワーク
東京都千代田区永田町2-10-3 東急キャピトルタワー 9F
03-6858-3546

